

令和6年度 学校法人福山大学事業計画

令和5年12月21日

I. 事業活動の重点

学校法人福山大学は、近時少子化に伴う18歳人口の減少、大学全入時代の到来等、社会情勢の変化に伴い、法人活動を営むにあたって相当厳しい状況を迎えているといっても過言ではない。

福山大学及び福山平成大学では、これまで学科改組・名称変更、成績優秀者に対する授業料の減免措置、建物等修学環境の整備、海外協定校からの留学生の確保及び入学定員の適正化等の施策を講じるなど対処してきたが、近年の少子化の影響を受け受験者数及び定員の充足率において不本意であり、令和6年度も受験者及び入学者を確保することについて喫緊の重要課題として引き続き取り組む必要がある。

このため、受験者及び入学者確保並びに卒業生の就職先の確保及び高水準の就職率維持のための方策、教育システム並びにICTによる修学環境の充実、高大連携の強化、施設・設備の充実等を含め、高校生等に魅力ある大学として様々な課題に対し、主体的かつ機動的に対処し、学校法人福山大学中期計画の達成並びに福山大学及び福山平成大学の長期ビジョンの実現を目指す。

II. 事業計画の内容

1. 令和6年度学校法人福山大学諸行事の実施

別紙「令和6年度学校法人福山大学諸行事の日程」のとおり

2. 受験者、入学者の確保施策の推進

- (1) 入試戦略委員会による入学者増のための施策の策定
- (2) 特色ある学部、学科づくりのための教育システムの推進
- (3) 学生のキャンパスアメニティの整備及び学内諸施設の改修
- (4) 総合型選抜(一般)、大学入学共通テストの継続実施
- (5) マスコミ及び学校法人福山大学社会連携推進センターを活用した積極的な広報活動の推進
- (6) ホームページ及び広報誌等による学内情報のより一層の発信
- (7) 高大連携協定書締結高校との連携の充実
- (8) 福山大学・福山平成大学入試担当者と高等学校(備後圏域)との合同研修会の実施
- (9) 高校訪問活動のより一層の充実及び高校毎の大学訪問の積極的受け入れ
- (10) オープンキャンパス、出前授業等の充実や公開授業の全学的推進
- (11) 海外の大学との交流協定書に基づく留学生の受け入れ及び新規開拓
- (12) 同窓会(卒業生による業界説明会)及び後援会による就職支援対策の強化

3. 広報活動の強化

広報組織の強化、充実を図り、テレビコマーシャルやインターネット広告などの他、各広報メディアに福山大学及び福山平成大学の各学部学科の教育研究などの情報を積極的にアピールするなど、より一層の広報活動を展開する。ホームページにおいては、サイトに訪れる方の目的に配慮し理解を深める内容にするとともに高校生の本学への興味、関心を高める動画コンテンツの充実を図る。

4. 大学教育改革等の推進

全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努める。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を

授業改善に活かすとともに、学修成果の可視化をより進展させる。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学および各学部はPDC Aサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行う。

さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって無くてはならない地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注する。

また、福山大学では、日本高等教育評価機構による認証評価を令和6年度に受審する。

5. 学生のICTによる修学環境の充実

学生のICTによる修学環境について、BYOD(Bring Your Own Device)対応ICT学修室の設置、学内ネットワーク機器の更新、アクセスポイントの増設、インターネット回線の増強及び地元データセンターの活用による安全性の向上を行っているところであり、今後もその充実を図る。

6. グローバル化の推進

福山大学では、大学間及び学部間等の学術教育交流協定書に基づく海外の協定大学（アメリカ・中国・ブルガリア・ベトナム・インドネシア・メキシコ・ポーランド・台湾・韓国・ラオス・バンラデシュ・タイの38大学）との交流の更なる発展・深化に努めるとともに、必要に応じて新規協定の締結を目指し、優良留学生の確保と本学学生の海外体験の拡大を図る。

福山平成大学では、米国のカリフォルニア大学リバーサイド校や学術教育交流協定の締結校である韓国の釜山外国語大学校との交流を深めていく。また、他の地域の大学との協定を探りながら、希望する学生に海外研修の機会を提供することを通して大学としてのグローバル化を推進していく。

7. 施設・設備の整備、充実

福山平成大学では、14号館（学生ホール・アクティブラーニング棟）の令和6年12月竣工に向け工事を進める。福山大学では、令和7年4月竣工を目指している聚志館（ものづくり工房）の実施設設計を完了し、工事を進める。さらに省電力化・クリーンエネルギー化を図るため、福山大学では、化石燃料からの脱却に向け、常用発電機の非常用化に伴う構内2受電化用電気設備の設置工事、両大学の学内施設照明器具のLED化を推進する。また、福山大学人間文化学部心理学科の入学定員増に伴う23号館3階演習室等の改修工事を行うなど、両大学の学内諸施設のより一層の整備、充実を図る。

主要設備としては、保守期間終了等に伴う両大学の学務支援システム（ゼルコバ）、統合認証システム、ICT教室のパソコンの更新、福山大学では、高速液体クロマトグラフ質量分析計、34号館のプロジェクトなどの更新及び23号館改修に伴う什器・備品の購入、福山平成大学では、基幹ネットワークシステム及び無線インターネットアクセスポイントの更新及び14号館新築に伴う什器・備品の購入などを行い両大学における学生の学修環境の整備・充実を図る。

8. 地域社会との連携推進

松永駅前活性化プロジェクト（通称プロジェクトM）を主体とする”学生の街、松永”の取り組みの更なる充実を図る。

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターをそれぞれ社会連携の拠点として、地域社会への貢献を果たすため、学校、病院、地元企業及び自治体等と連携して組織的、総合的な取り組みをより一層推進する。

また、学校法人福山大学社会連携推進センターでは、地域の社会人向け生涯学習（中国語、中国文化）を継続するとともに、新たな講座を設け、リカレント教育、リスキリング教育の拠点を目指し更に地域社会への貢献に努める。

9. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進

福山大学並びに福山平成大学の学術研究や教育等の充実・発展のために、福山大学では、研究ブランディング事業など25件の研究・教育支援基金、福山平成大学では、6件の研究・教育・地域交流支援基金を設置し、両大学のホームページの他、福山大学卒業生並びに地元企業等にも募集を呼びかけ、寄付金募集活動について、より一層の推進を図る。

10. 学科名変更、入学定員及び収容定員変更

福山大学は、令和6年4月より、工学部のスマートシステム学科を電気電子工学科に、生命工学部の生物工学科を生物科学科に、生命栄養科学科を健康栄養科学科に学科名変更する。

また、令和6年4月より、福山大学の入学定員及び収容定員の変更を行う。

経済学部経済学科（入学定員170人→180人、収容定員680人→720人）

経済学部国際経済学科（入学定員50人→40人、収容定員200人→160人）

人間文化学部心理学科（入学定員50人→70人、収容定員200人→280人）

工学部情報工学科（入学定員50人→60人、収容定員200人→240人）

生命工学部健康栄養科学科（入学定員50人→40人、収容定員200人→160人）

生命工学部海洋生物科学科（入学定員100人→110人、収容定員400人→440人）

薬学部薬学科（入学定員150人→110人、収容定員900人→660人）

福山大学全体（入学定員970人→960人、収容定員4,180人→4,060人）

11. 法人運営の充実

- (1) 学校法人福山大学の中期計画の推進
- (2) 定員未充足学部・学科の入学者確保のための募集活動のより一層の支援
- (3) 監事による監査及びその支援体制の充実
- (4) 福山大学並びに福山平成大学に係る教育・研究の拡充支援
- (5) 同窓会活動への支援
- (6) 教職員の評価システムの充実

(参考) 過去3年間の入試実績

(福山大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
令和3年度	970人	2,784人	1,675人	806人	83.1%
令和4年度	970人	2,393人	1,585人	805人	83.0%
令和5年度	970人	2,071人	1,479人	791人	81.5%

(福山平成大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
令和3年度	340人	692人	473人	293人	86.2%
令和4年度	340人	611人	444人	279人	82.1%
令和5年度	340人	590人	453人	302人	88.8%

(別紙)

令和6年度 学校法人福山大学諸行事の日程

月	法人	福山大学	福山平成大学
4	理事懇談会(上旬)	入学式(3日) 学生リエンション(4日～9日) 健康診断(8日～17日) 前期授業開始(10日)	入学式(4日) 学生リエンション(5日～10日) 健康診断(5日～9日) 前期授業開始(11日)
5	理事会・評議員会(下旬)	開学記念日(15日) 学長杯争奪競技大会(15日)	開学記念日(15日) 学長杯争奪競技大会(15日)
6		入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) オープンキャンパス(下旬)	入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) オープンキャンパス(下旬)
7	理事会(中旬)	オープンキャンパス(中旬) 前期授業終了(31日)	オープンキャンパス(中旬) 前期授業終了(26日) 前期定期試験(27日～8月5日)
8		前期定期試験(1日～8日) 夏季休業開始(9日) オープンキャンパス(下旬) 教育懇談会(下旬～9月上旬)	夏季休業開始(6日) オープンキャンパス(下旬) 保証人懇談会(下旬～9月上旬)
9		オープンキャンパス(中旬) 夏季休業終了(20日) 後期授業開始(21日) 公開講座(中旬～10月下旬)	オープンキャンパス(中旬) 夏季休業終了(15日) 後期授業開始(17日) 公開講座(中旬～10月下旬)
10	理事会(下旬)	大学祭(三蔵祭)(18日～21日) 学長杯争奪競技大会(18日) 総合型選抜(一般)第Ⅰ期(下旬) 総合型選抜(スポーツA)Ⅰ期(下旬)	大学祭(御幸祭)(25日～28日) 総合型選抜(一般)第Ⅰ期(下旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅰ期(下旬)
11		企業懇談会(上旬) 指定校推薦型選抜(中旬) 指定校(グローバル人材強化、会計・経営人材強化、芸術・メディア表現枠)推薦型選抜第1回(中旬) 総合型選抜(スポーツA)Ⅱ期(中旬) 公募推薦型選抜A日程(中旬) 日本高等教育評価機構による認証評価実地調査(18日～20日) 総合型選抜(一般)第Ⅱ期(下旬) 学生健康診断(下旬) 卒業生による業界説明会(下旬)	企業懇談会(上旬) 指定校推薦型選抜(中旬) 指定校(資格取得者)推薦型選抜第1回(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅱ期(中旬) 公募推薦型選抜A日程(中旬) 総合型選抜(一般)第Ⅱ期(下旬)
12	理事会・評議員会(中旬)	公募推薦型選抜B日程(中旬) 総合型選抜(スポーツB)Ⅰ期(中旬) 指定校(グローバル人材強化、会計・経営人材強化、芸術・メディア表現枠)推薦型選抜第2回(中旬) 授業終了(21日) 冬季休業開始(22日)	公募推薦型選抜B日程(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅲ期(中旬) 指定校(資格取得者)推薦型選抜第2回(中旬) 授業終了(20日) 冬季休業開始(21日)
1		冬季休業終了(4日) 授業開始(6日) 大学入学共通テスト(18日～19日) 後期授業終了(30日) 一般選抜前期A日程(下旬～2月上旬) 保証人との就職懇談会(中旬)	冬季休業終了(7日) 授業開始(8日) 大学入学共通テスト(18日～19日) 後期授業終了(30日) 一般選抜前期A日程(下旬～2月上旬)
2		大学入学共通テスト利用選抜(前期)(上旬) 後期定期試験(5日～15日) 総合型選抜(スポーツB)Ⅱ期(中旬) 一般選抜前期B日程(下旬) 業界説明会(下旬)	大学入学共通テスト利用選抜(前期)(上旬) 後期定期試験(4日～14日) 開学30周年記念行事(中旬) 総合型選抜(スポーツ)Ⅳ期(中旬) 一般選抜前期B日程(下旬) 業界説明会(下旬)
3	理事会(中旬)	春季休業開始(1日) 一般選抜後期日程(上旬) 大学入学共通テスト利用選抜(後期)(上旬) オープンキャンパス(中旬) 学位記授与式(卒業式)(20日)	春季休業開始(1日) 一般選抜後期日程(上旬) 大学入学共通テスト利用選抜(後期)(上旬) オープンキャンパス(中旬) 学位記授与式(卒業式)(21日)